

平成17年12月1日(木) 年末年始号(No.7)

あ じ ふ る さ と 阿 字 の 故 郷

てんのうざんじん ほ し せんじゅ いん
天応山神保寺千手院情報誌

編集者：川 上 修 詮

宝物のベスト3 (伝道団葉書掲載)

小学生に、この世の中で大切なもの
ベスト3を聞いてみました。

一つ目は「いのち」で、みんなが持っているのに、どこにも売っていないからと言っている理由です。

二つ目は「思いやり」で、これがないと嫌な世の中になってしまおうと言っている理由です。

三つ目は「友達」で、一人の時より何でも楽しく出来るからと言っているのがその理由です。
子供たちの感じている「いのち」は、気がつけば既に授かっていたもの、悠久の大きな命の根源。まさに仏さまそのものことです。

次の「思いやり」は、人の良心のことで、行動を正しく導く方法としてお経の中に書かれています。

また「友達」は、互いを励まし合い切磋琢磨していく仲間たちを言い、和合の衆と言われています。

以上の三つは「三宝」と言われ、仏様の世界でもっとも大切な宝物と言われています。他人を尊び、広い心で、多くの良き

弘法大師



仲間と共に、よりよい世界を目指すのは、決して無理な話では有りません。
気がつきましよう、あなたの中に備わっている大切な宝物に。

弘法大師さまのお化粧直し

本堂内陣に安置されていた弘法大師さまが、この度お化粧直しをされて、高野山から戻ってこられました。

相模自治布教団主催写経講習会

平成十七年九月十六日（金）午後一時より、茅ヶ崎市円蔵寺本堂において、写経講習会を開催いたしました。参加者は七十名を超え、檀信徒に加えて支所下教師も多数参加を致しました。尚、千手院からも二十名の方々にご参加いただきました

講習の内容は、①円蔵寺住職木南真善僧正による写経の歴史。②高野山書道協会・日本書道美術院の新川晴堂先生による書法の講義。③安楽寺住職玉園篤敏僧正による実習の順に行われました。

特に新川先生の書法の講義では、誤字脱字の修正方法や筆法の解説。道具の選定方法など、書家の視点から見た写経の技術面のお話しは大変興味深く、参加者一同納得することしきりといった感がありました。

また、改装して真新しくなった円蔵寺本堂のすばらしい会場で、雰囲気も良く清生とした中での心地よい緊張感が場内を包み込んでいました。

実習担当の玉園僧正は、数十年のご経験を活かし、臨機応変にご指導いただき、檀信徒の参加者にとって心強い存在でありま

した。

尚、ご奉納いただきました写経は、ご本山に納めさせていただきます、講習会も今後定期的に開催するよう、相模自治布団で計画していくつもりであります。



写経風景

逗子警察署で阿字観実修会

平成十七年九月二十七日木曜日午前十時より、池子の東昌寺ご住職岸本光瑞僧正様のご紹介で、逗子警察署道場で警察官の方々に阿字観の実技を指導して参りました。

ストレスの多い職業のうえ、相談や苦情を受け付ける側に立っていらっしやいますので、こころのはけ口をつくっておくことが重要なこととなります。

少しでもそのお手伝いが出来ればと考え引き受けさせていただきましたが、実修後の皆様の和やかな表情に接し、大変嬉しく温かい心持ちで終了することが出来ました。

仏教伝道協会で阿字観講演

右記の講演の後、東京都港区芝の仏教伝道協会設立四十周年記念『特別仏教講座』で、阿字観瞑想の講演をさせて頂きました。参加者は会場を満席に集まって頂き、受付出来なかった方も出たほど盛況だったようです。

高野山や密教に対する関心の高さに驚いておりますが、期待に応えられるよう研鑽を積んで行きたいと思っております。

相模文所高野山団参の報告

平成十七年十月十八日より二十日までの二泊三日で、高野山と熊野古道とお伊勢参



様にお受け取り頂き、ねぎらいのお言葉を頂戴いたしました。

翌日の熊野古道散策は、天候にも恵まれ最後まで歩ききった方も多くいらっしやいました。当日の浦島旅館では、充分に湯治を楽しまれたようです。

最終日の伊勢神宮参拝では、自由時間のお買い物に奔走されている方も多く、心おきなくおみやげを調達していたようです。

年末年始の行事の予定です

○本堂と境内の大掃除

十二月二十三日（金）に年末の大掃除を致します。ご本尊様やご先祖様の周りを檀信徒の皆様の手で磨きをかけ、すがすがしい気持ちで新年に備えましょう。

参加ご希望の方は、ご連絡下さい。大勢の方の参加をお待ちしています。

○年越し祈願法会

大晦日午後十一時三十分より元旦午前〇時三十分まで、新年のお守り札をご祈願する読経会を致します。

読経の後、精進のおせち料理を頂きなが

ら、新年の抱負を話し合いたいと思っております。是非お出かけ下さい。

○初詣受付

正月三箇日は、初詣にお越し下さい。戌年の土鈴を参詣記念に差し上げます。数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

○新年答礼

平成十八年一月四日（水）終日にかけて住職が護寺会員の皆様のお宅に、お守り札を持って伺います。

○節分会

平成十八年二月三日（金）午前十一時より十間坂の円蔵寺にて、節分護摩祈禱会が行われます。

護摩札ご希望の方は、千手院寺務所までお申し込み下さい。一枚二五〇〇円です。

○春季彼岸会閻魔祭

平成十八年三月二十一日（火）お中日の午前十一より、境内閻魔十王堂前にて読経と法話を行います。

りを、相模宗務支所主催で参拝して参りました。

千手院の護寺会役員様にもご参加いただき、総勢で九十名を超え、観光バス3台でのにぎやかな旅となりました。

初日は、先日の自治布教団写経会で奉納して頂いたお写経を、総本山金剛峯寺にて奉納式を行い、本山総務部長真田有範僧正

昼食を兼ねた茶話会も予定しておりますのでお誘い合わせの上お越し下さいませ。

平成十八年の実修会の予定

○阿字観実修会（日曜日の午後四時）

一月十五日・二月五日・三月五日
四月二日・五月七日・六月四日
七月二日・八月二十日・九月三日
十月一日・十一月五日・十二月三日

※参加は無料です。予約も不要です。

○写仏と写経会（午前十時から正午まで）

一月二十九日・二月十九日
三月二十六日・四月三十日
五月二十八日・六月二十五日
七月二十三日・八月二十七日
九月二十四日・十月二十九日
十一月二十六日・十二月十七日

※奉納料一〇〇〇円のみご用意下さい。

○金剛流御詠歌講

月二回木曜日の午後一時三十分より行っております。参加ご希望の方は、お問い合わせ下さい。見学も可能です。

平成十八年の年回忌供養表

一周忌	平成十七（二〇〇五）年
三回忌	平成十六（二〇〇四）年
七回忌	平成十二（二〇〇〇）年
十三回忌	平成六（一九九四）年
十七回忌	平成二（一九九〇）年
二十三回忌	昭和五十九（一九八四）年
二十五回忌	昭和五十七（一九八二）年
二十七回忌	昭和五十五（一九八〇）年
三十三回忌	昭和四十九（一九七四）年
三十七回忌	昭和四十五（一九七〇）年
四十三回忌	昭和三十九（一九六四）年
四十七回忌	昭和三十五（一九六〇）年
五十回忌	昭和三十二（一九五七）年
百回忌	明治四十（一九〇七）年

※ご法事をご希望の方は、お寺に日時を確認してからお決め下さい。同じ日時に法事の重なる場合が有りますので、先着順とさせていただきます。

- ①日時と場所の確認
- ②卒塔婆の名簿
- ③参加者の人数
- ④食事の有無と場所
- ⑤生花と供物の注文
- ⑥位牌と遺影等

以上

高野山真言宗 天応山神保寺

千手院

〒235-0015 茅ヶ崎市代官町1番4号

電話 0467(51)9758

FAX 0467(51)0561

ホーム <http://www.shusen.com/senjuin>

メール senjuin@shusen.com